

センター便り

〒892-0846

鹿児島市加治屋町5-5

日本キリスト教団鹿児島地区

鹿児島キリスト教センター

TEL (099) 227-1152

FAX (099) 833-3127

2025年 初夏

シリーズ

この一冊

「疑いながら信じてる50」 新型キリスト教入門その1

富田 正樹著

指宿教会 坂田 茂

私が洗礼を受けたのは小学5年生のときで、その教会は祈りに合いの手が入る教会でした。誰かが祈っていると、「アーメン、主よ」「おー主よ」「主よハレルヤ!」「主よ感謝します」とか聞こえてくるのです。月に一度くらいトラクトをポストに入れていく父の手伝いをし、頻繁に昼食を教会で食べました。洗礼を受けたのは親がしきりに勧めるので、というのが理由で、子どもながらにどこか自分は醒めていてついていけないと思っていました。中学で部活が始まりあまり礼拝に行くことはなくなりました。大学浪人をしたときに自分を見失い聖書にすぎりました。また礼拝に通い始めました。大歓迎してくれる教会の皆さん、相変わらずの合いの手と昼食会、礼拝に毎週通いつつもやはりついていけない自分がいました。

そんな私が大学に入り先輩に誘っていただいて日本基督教団のある教会に、祈りに合いの手の入らない礼拝に出席した時

は衝撃でした。「あれー僕についていけないやん!」今まで自分を不信仰で不熱心だと思っていたら、そこには不信仰で不熱心な普通の人だらけで、神様、こんなところあるならもっと早く教えてよって思いました。

こんな私が熊本で日本基督教団の教師としての歩みを始めました。歩みの中でこんな私でよいのだらうかと思いつきました。そして私は富田正樹先生の「信じる気持ち」はじめてのキリスト教」に出会います。納得がいかならないものは納得がいかないう、自分はこの受け止めるのがしっくりくるんだからこれを大切したい、と思われる気持ちが伝わってきました。自分は自分でいいんだ、まわりの期待に応えるために、自分でないものにならなくていいんだ、神様がこのように自分を創ってくれたんだと感じとても力を与えられました。

今回、紹介の書籍は、「疑うこと」は信じていからこそだ、ということから、50のテーマを富田先生が神様とご自分に向き合いながら、自分を偽わずに見解を述べられています。書かれてある内容には賛否があるでしょうが、正直であることと誠実であることは間違いないと感じます。そして先生の魅力は、キリス

ト教を受け入れようとしないう人がしつかりと視界に入っているなにかして伝えようと、納得するかしらないかはその人次第ですが、とにかく伝えたいという気持ちが溢れているところです。

私は立派なクリスチャンではないですが、「聖書がなければ、信仰がなければ、礼拝しなければ、祈られていなければ生き続けることはできません」と誰よりも自信をもって言えます。そしてイエス様の「あなたはポンコツなあなたのまま、私は必要としているんだよ」との声が聞こえます。だから私は「こんな私を必要としてくださいのだから、あなたを必要としてくださいのだから、あなたを必要としないでください」と伝えたいのです。富田先生からはイエス様と同じ香りを感じます。いづか実際にお会いできることを願っています。

突然ですが8月6日〜8日、県民の森キャンプ場でお会いしましょう。地区キャンプではスボットでのお手伝いの参加を歓迎します。献金もお待ちしております。よろしくお願いします。



私の好きな御言葉

齊藤 宏子

(川内教会阿久根会堂)

80歳を過ぎた頃から急に身体の衰えを感じるようになりました。

初めに老いを感じたのは、教会の献金を数えた時でした。紙幣がうまくすべらず、指紋がツルツルになっていることに気が付きました。

次にペットボトルのふた、レジ袋が開けられなくなり、少しずつ出来ないことが増えていくのを実感しているこの頃です。

老化防止のため、唯一、長い間続けていることがあります。「さりを織」をしている障がい者施設の方たちが織った布を使ってバックやポーチ等の小物作りをしていることです。

ミシンを踏んで足がきたえられ、手を使って細かい作業をして手足を動かし、出来あがりに喜びを感じ、楽しさを味わっています。いつまで続けられるかと不安に思うこともありますが、織物を使ってバックやポーチを作ることに喜びを感じ、楽しさをも与えられて、今はこのことによって私自身が支えられていることに感謝しています。

新刊書案内販売中 (6 月)



No.	書 名	著 者	出 版 社	定 価
1	子供たちと育ちあうために	むらかみ じゅんこ	教団出版局	1,650
家庭や教会、幼稚園等で子どもと触れ合う人が子どもの世界への理解を深め、子どもとともに育ってゆくことを促す一冊。				
2	はじめてのヨハネ福音書	棟居 正	教団出版局	2,200
四つの福音書の中でも、独自の魅力を持っているヨハネによる福音書。聖書を初めて読む方、読み始めて間もない方にも、おすすめの一冊です。				
3	涙の夜 喜びの朝	日本基督教団出版局 編	教団出版局	1,540
主の受難に心を寄せ、復活の勝利を喜び、日々の力をいただくために聖霊を求めるための祈りの言葉とショートメッセージ集。				
4	NTJ新約聖書注解 ルカ福音書9章～19章	嶺重 淑	教団出版局	7,920
ガリラヤを立ちエルサレムへ向かうイエスと弟子たちの旅。その途上におけるイエスの言葉、譬え、癒しと、イエスに会い、論争し、導かれた人々を描く。				
5	ルピナス・ヴァレーへの道	森本佳代・森本二太郎	教団出版局	1,760
2008年に岡山県の新庄村に移り住んだ森本佳代さん、二太郎さん、潤太さんの家族。荒地から今やルピナスが花咲く美しい庭となったルピナス・ヴァレー創造の物語。				
6	老いをどう生きるか	渡辺 正男	教団出版局	2,200
米寿を迎える熟練の牧師が、真に支えになるのは、自分自身と親しい者を委ねることのできる主イエスの福音であることを、やさしい言葉で伝えていく。				
7	聖書のことば辞典	小友 聡	教文館	1,980
「契約」「裁き」「選び」「メシア」など、旧約と新約を結ぶ50の重要な用語を解説。読者の素朴な疑問に答える。				
8	日本キリスト教神学小史	近藤 勝彦	教文館	2,420
植村正久、高倉徳太郎、熊野義孝、北森嘉蔵、大木英夫… 日本を代表する5人の神学者・牧師の教義学の確立と展開に注目しながら考察する。				
9	すべての人のためのルカ福音書	N.T. ライト	教文館	4,180
1世紀ユダヤ・ローマ世界の中でイエスを捉え、その福音を遍く伝えようとしたルカのテキストを、新約聖書学の大家が鋭い洞察をもって説き明かす。				
10	戦後日本とキリスト教	富坂キリスト教センター 編	新教出版社	2,200
戦後日本を形作り、今日にまで至るもろもろの制度が確立する頃のキリスト教界の姿を通して、「戦後80年」の意味と今後のキリスト教を考える上で、貴重な示唆に富む共同研究。				
11	非戦と抵抗の教育	鈴木 文治	新教出版社	2,310
障害児教育の源流にあるもの…社会的有用性で人間の価値を計る時代に抗して、いま教育は何をなすべきか。				
12	ユーモア入門 人生を楽しむ7法則	宮平 望	新教出版社	2,310
ユーモアとは何か？ 聖書から落語、さらには古今東西さまざまなジョークを参看し、ユーモアの多様な形と本質を探る。読みながらつい頬が緩むこと請け合い。				
13	「生きる」をいつくしむ	山口 雅弘	YOBEL	1,650
「キリスト教の原点」であるイエスの生き方を現代に回復することこそ急務。キリスト者か否かを問わず「平和」を求めるすべての人びとに贈る力作!				
14	能登半島記(未完)	前口 憲幸	時事通信社	2,200
取材者であり被災者。能登半島地震発生直後の1月5日から、北陸中日新聞能登版で続く被災地の息遣いを伝える掌編コラムを書籍化。				

(税込み価格)

☆【備え付け図書】(2025.3 月～ 2025.5 月備え付け)☆

- 信 仰・修 養 『女の子たち風船爆弾を作る』-小林 エリカ『それでも、希望に生きる』-上垣 勝
『〈出会い〉の旅 わが師わが友』-宮田 光雄『バルセロナで豆腐屋になった』-清水 健宇
『70歳からのキリスト教 聖書でたどる人生の旅』-大澤 秀夫
『中学生から知りたいパレスチナのこと』-岡 真理・小山 哲・藤原 辰史
『不安と孤独の処方箋』-石丸 昌彦
- 教 育 『マインドコントロールからの解放』-オウム真理教信徒救済ネットワーク 編
『統一教会ボディコントロールの恐怖』-人間と性教育研究協議会 編
『イエスの歩み 31 私に従いなさい』-吉村 和雄『北島敏之小文集(遺稿集)』-北島 敏之
『宮城学院に連なる人々』-佐々木 哲夫
- 人 物 『押田成人 遊行の巡礼者』-宮本 久雄・石井 智恵美
- 聖 書 『説教黙想アレティア叢書創世記1-28章』-教団出版局
『説教黙想アレティア叢書創世記29-50章』-教団出版局
『説教の聴き方』-朝岡 勝
- 神学・社会学 『キリスト教の信じ方・伝え方』-A.E.マクグラス『聖書学と信仰者』-マーク・ツビィ・ブレットラー他
『聖書における和解の思想』-左近 豊
- 児 童 書 『チ。地球の運動について 第1集～第8集』-魚 豊
- 事典・辞典 『聖書の基礎知識 新約・旧約外典編』-C.ヴェスターマン・F.アーヒウス

歌壇ニュース

長い間11月3日の文化の日に開催されてきた鹿児島地区信徒大会が今年度から原則として5月に開催されることになりました。第60回目の開催となった今回は鹿児島混声合唱団をゲストにお迎えし豊かな讃美の時となりました。

第60回鹿児島地区信徒大会開かる

日時：2025年5月31日(土)

会場：日本基督教団鹿児島加治屋町教会

主題：「主を賛美しよう」

いまこそ声をあわせ、ともに歌おう

主を賛美しよう」

参加数：95名

(教会員：一般：68 鹿児島混声：27)

開会礼拝「歌は祈り、賛美は希望」

志布志教会 石倉夕子牧師

聖書：使徒言行録16章25節

「真夜中ごろ、パウロとシラスは祈りつつ神を賛美する歌を歌っていた。他の囚人たちはそれに聞き入っていた。」

今日の信徒大会は「歌うこと」を通して、私たちの信仰と心をもう一度深める、とても豊かな時間です。聖書には「真夜中に歌った人たちが」が登場します。牢獄に入れられ、傷ついた体で、足には枷(かせ)。それでもパウロとシラスは、「神を賛美する歌を歌っていた」と書かれています。しかも、それを「囚人たちが聞き入っていた」のです。歌は、信仰の言葉です。歌は、祈りであり、告白であり、共同体の声です。

世界はどこかで、今も戦争や暴力、分断が絶えません。私たちの心もまた、ときに絶望や怒りでいっぱいになることがあります。そんな時、私の心に響く歌があります。

アヒノアム・ニニ(ノア)というイスラエル人歌手の《There Must Be Another Way》(きこつと他の道がある)という曲です。ミラ・アワドというパレスチナ人の歌手と共に歌った曲で、ヘブライ語とアラビア語——つまり、対立する民族の二つの言葉で歌われています。それだけでも強いメッセージです。

この歌の中で、彼女はこう問いかけます：「痛みを知っていないながら、なぜ私たちは黙っているの?」そして、こう宣言します：「きこつと、他の道がある(There must be another way)」と。この歌は、まさに現代の「牢獄での賛美」です。人と人が隔てられている現実の中でも、歌が橋をかける。歌が祈りになる。歌が平和を選び取る行為になる。そんな思いを私たちに抱かせてくれます。

歌は、沈黙を破る祈りです。神への賛美は、現実逃避ではなく、「この世界はこうあつてはならない」という、信仰に根ざした希望の表明です。パウロとシラスの歌も、ノアの歌も、そして私たちの賛美も——すべては「闇の中に響く声」です。

今日、皆さんとともに讃美歌を歌えることは大きな恵みです。ただ歌うのではなく、「信じて歌う」のです。闇の中で、分断の中で、それでも神の恵みを信じて歌う。その歌はあなたの隣の人の心に届き、いつか世界に響くかもしれません。歌は祈り。賛美は希望。だから、今日も共に歌いましょう。

地区信徒大会に参加して

鹿児島教会 尾崎 みゆき

新緑薫る5月最後の土曜日、鹿児島加治屋町教会礼拝堂に於いて第60回信徒大会が開催されました。今回は鹿児島で最も歴史のある「鹿児島混声合唱団」にご協力いただいた、讃美歌の合唱と合唱指

導をしていただきました。

間近で聴く混声合唱団の歌声は訓練された伸びやかな声、きつちりピッチの合ったハーモニークが心地良く、礼拝堂に響く歌声にしばし



時を忘れてしまうほどでした。中でも印象深かったのは、東日本大震災を経験した中学校の卒業生と音楽教師によって作られた「群青」でした。力強く美しい歌声に情景が迫ってくるようで感動しました。四曲の演奏でしたが、もっと長く聴いていたかったです。

その後の讃美歌ワークショップでは「よるこびの日よ」(204)、「み神の力は」(363)をご指導いただきました。パートに別れての指導は、基本の発声発音についても教わり、只々声を出しているだけだった私にとって大変勉強になりました。またメロディしか知らなかったけど違うパートを歌えて楽しかったと喜んでいる方もおられました。

パートを合わせての全体練習では、「これが最後!」と頑張って歌ったのに「もう一回いきましょ!」と元気に言われ、体力のない私は「ええっっ!」。合唱団の人はそれほど何度も熱心に歌うからこそ

技術に磨きがかかるのかと納得させられたのでした。

最後に希望を申し上げれば、練習した二曲の讃美歌の歴史的背景や歌詞や曲の理解につながる学びも加わったら、さらに良かったかなと思いました。楽しく豊かな時間を備えられましたことに心より感謝いたします。

鹿児島教会 上野 貢一

開会礼拝は石倉夕子牧師によってなされました。コンサート・ワークショップでは、鹿児島混声合唱団の皆さんによる讃美歌の模範合唱及び讃美歌のワークショップが行われました。「われ聞けりかなたには」「主よ、おわりまで」「群青」[The lord bless you and keep you]...

「群青」は東日本大震災を経験した福島県南相馬市の子どもたちと先生により作られ、以来歌い継がれている曲です。休憩を挟んで合唱団講師による賛美合唱指導とパート練習があり、女性、ソプラノ、アルト。男性は、テノール、バスに分かれて指導を受け、会堂に集合し混声四部合唱で讃美歌21の204番「よるこびの日よ」、363番「み神の力は」を、参加者全員で、会堂一杯に声高らかに主を賛美しました。講師の指導の素晴らしさに感激しました。

戸田奈美子牧師の閉会祈祷、地区委員長尾崎和男牧師の挨拶で終了しました。

終了後、司会の原委員長から、新しく鹿児島教会の長老になった方で今日誕生日の方がいると紹介されました。その日は私の後期高齢者になった誕生日で、25才で洗礼を受けて50年になりました。20才の、人生に絶望した青年が、国立療養所星塚敬愛園の一人の看護師に出会い、それは「ひよつとしたら、生きられるのではないか」と思えたイエス・キリストとの出会いでもあり、その出会いは、ま

さに開会礼拝説教で紹介された曲「きつと別の道がある」と思えた出会いでした。参加者全員で誕生日の歌「ハッピーバースデイトゥー」を歌ってくださいました。神様のなんとという計らいでしょう。

気が付いたら「最高です。ハレルヤ」と諸手を挙げて叫んでいました。

「青春の日々にこそ、お前の創造主に心をとめよ」(コヘレトの言葉12章1節)



☆二〇二五年度も鹿児島キリスト教センター会員として支えていただけのことに感謝いたします。活字離れ・少子高齢化の波にのまれ、その影響はキリスト教センターの活動にも少なからぬ影響を及ぼしています。そのような世の現況の中、いつもキリスト教センターを覚えていただきありがとうございます。

会費はセンター備付図書費用として充当しています。まだ入会をお忘れの方は、どうぞご検討ください。

新たに会員となつてくださる方は、随時受け付けておりますのでよろしく願います(記載漏れのある場合は、キリスト教センターまでご連絡ください。)

鹿児島教会(法人1、賛助15、普通12)

池上 俊 唐牛健三

田淵保子

尾崎和男 有村 泉

宇田川義夫

唐牛弘子 作井素子

田口二千代

原 薫 坂口松平

与那嶺京子

藤本直子 米盛司郎

上野貢一

原 祐 原ゆみ子

小牟田美代子

鹿児島友義 鹿島直子

高橋美津子

森谷素子 尾崎みゆき

阮 琬瓊

林智恵美 有馬礼子

前田真理子

鹿児島加治屋町教会

(法人1、賛助9、普通8)

阿川まち子 松田潤子

山下陽太郎



スケジュール【2025年7月～9月】

7月	8日(火)	聖句書道	13:30～16:00
	11日(金)	鹿児島朝祷会	7:00～8:00
		担当: 牧師	
		(鹿児島リバイバルチャーチ)	
	19日(土)	ギデオン協会例会	10:00～
	20日(日)	鹿児島地区委員会	14:30～
8月	22日(火)	聖句書道	13:30～16:00
	22日(火)	貸会場	19:00～
	25日(金)	鹿児島朝祷会	7:00～8:00
		担当: 田淵 亮牧師	
		(日本バプテスト連盟鹿児島キリスト教会)	
9月	8日(金)	鹿児島朝祷会	7:00～8:00
		担当: 霧島 彬祭	
		(カトリック鹿児島教区)	
	9日(火)	貸会場	19:00～
	16日(土)	ギデオン協会例会	10:00～
	22日(金)	鹿児島朝祷会	7:00～8:00
		担当: 坂田 茂牧師	
9月		(日本キリスト教団指宿教会)	
	22日(金)	夏期休館	
	23日(金)	夏期休館	
	9日(火)	聖句書道	13:30～16:00
	12日(金)	鹿児島朝祷会	7:00～8:00
		担当: 佐多 洋明牧師	
		(鹿児島リバイバルチャーチ)	
	12日(金)	夏期休館	
	13日(土)	臨時休館	
	20日(土)	ギデオン協会例会	10:00～
	23日(火)	聖句書道	13:30～16:00
9月	26日(金)	鹿児島朝祷会	7:00～8:00
		担当: 島 優子牧師	
		(日本聖公会鹿児島復活教会)	
9月	26日(金)	貸会場	19:00～

※スケジュールは予定です。変更になる場合もあります。ご了承ください。

黒崎宏子 徳田 穰 島藤佳子
大迫政彦 山口眞弓 松本敏之
大林安治 田尻徳子 町頭カツ子
横山美之 赤星恭子 野村弘子
中村アイ子 小園庸子
阿久根伝道所 (賛助1、普通2)
興水正人 興水路子 窪田輝男
川内教会 (賛助2、普通3)
梅木富子 日下部遣志 上野牧門
戸田奈都子 園田武子
串木野教会 (普通1)
山口博恵
国分教会 (普通1)
徳重師功
志布志教会 (賛助1、普通2)
石倉タ子 白蓋 勉 匿名
奄美地区教会 (普通4)
名瀬教会 喜界教会 瀬戸内教会
徳之島伝道所

法人 鹿児島加治屋町教会
谷山福音教会
唐牛紀子(鹿児島教会)
他教派・一般(賛助3、普通13)
町頭良行 梶原正子 日高順子
松本 貢 里村好美 中原裕子
篠塚俊男 節政玲子 国分良子
加世田育子 マウ・マウ・タン
間瀬さつき 唐川尊議 馬渡健太郎
林 成子 パン作りの会
賛助39 普通51 法人2
賛助33 普通52 法人2
賛助31 普通46 法人3
(2025年6月10日現在)
※会員数はなだらかな右肩下がりです...

会員募集(再掲載!)

会員入会費はセンター備付の定期刊行物及び図書購入費に充てられます。新年度も図書、CD、DVD、定期刊行物などの蔵書の充実を図っていきたいと願っています。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(会費はいずれも年額です)

☆普通会员 1,200円

☆賛助会員 3,600円

☆法人会員 12,000円